

令和6年度 第4回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議  
評価結果（令和7年2月3日開催）

（事前評価）

法人名称	株式会社マックビーヒル就労支援機構
事業所名称	まっくビーレジデンス守山区中志段味
事業所所在地	名古屋市守山区大字中志段味字古山田 2594 番 10
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・サービス管理責任者は管理者と共に事業所運営の要となる。資格を有していれば誰でもよいというものでなく、法人としての理念を実現するため、事業所運営に必要な人材の基準を持ち、人材を確保するように努めること。</li><li>・サービス管理責任者を採用後は、利用者の受入について当事者及び関係者からの直接的な面談等による情報収集を丁寧に行うことで、障害特性を踏まえ、リスク及び必要な支援方法を共有できるように体制を整えること。</li><li>・守山区志段味の事業所として、基本方針を明確に持つこと。</li><li>・グループホームの利用者が生活するうえで必要となる、地域の社会資源（日中活動や余暇活動の場、医療機関、交通機関等）について事業開設前に把握し、顔が見える関係性の構築に努めること。</li></ul> <p>また、地域のニーズ、社会資源の把握にあたっては、障害者基幹相談支援センター等と連携を常に図ること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームへの入居にあたっては適性（集団生活の妥当性）や入居に対する意思について、主治医等との情報共有するなど、他の社会資源との連携した上で受入れができる仕組みにすること。</li><li>・想定する入居者について、不明確であったため、事業目的の再構築に努めること。</li><li>・原則である同性介助、同性介護の体制を整えること。</li><li>・管理者・サービス管理責任者が新規採用者であるため、管理者・サービス管理責任者への過度な負担が考えられる。法人として管理者・サービス管理責任者への負担を軽減する措置としてサポート体制を整えること。</li><li>・法人内でバイザー機能を担っている人が少ない。今後、事業を拡大する中で、法人で現場の職員に対しフォロー体制を整えること。</li><li>・入居者を受け入れるにあたって、人材の確保と質の維持は必須であることから、常に必要な人員を確保すること。非常勤</li></ul>

職員も含めた従業者それぞれの技術や経験に合わせた研修に努め、受け入れ可能な体制を整えること。また、職員の離職は支援の質の低下になることから、離職防止、職員定着及び育成のための取組を行うこと。

- ・ 障害者の特性を理解した支援を展開できるよう、障害者支援の経験のある職員の確保や障害者支援に関する研修の活用など質の向上を図るように努めること。
- ・ 不適切な対応を防止するために、未経験の職員にも支援に必要な知識技術が習得されるよう、必要な研修（人権・利用者主体の生活支援・障害特性・虐待防止・権利擁護など）の時間を十分に確保し、OJTを充実させること。
- ・ 区自立支援連絡協議会においても日中サービス支援型グループホームの実績を報告するとともに、積極的に協議会の取組みに参加すること。
- ・ 地域との連携について苦慮される場面があれば、区自立支援連絡協議会や区社会福祉協議会を始めとした関係機関との協議等を通じて、具体的な取組みの検討を進めること。
- ・ 障害者基幹相談支援センター、相談支援事業所との連携を強め、区自立支援連絡協議会にも積極的に参加するなど対象区域での地域との関係づくりに努めること。
- ・ 自らの意思を決定することが難しい利用者のために、意思を尊重した入居やサービス提供の決定に必要な配慮を行うこと。
- ・ 個々の入居者の希望や状況を積極的にモニタリングする中で必要なサービスの活用を含めて（外出支援など）体制を整えること。

職員体制や事業所都合で支援するのではなく、利用者の要望、ニーズをしっかりと聞き取り、入浴をはじめ、利用者が希望する生活スタイルが実現できるようにすること。

- ・ 外部の研修も積極的に活用すること。
- ・ グループホームは日常的に不適切支援や虐待に気づきにくい環境であるため、職場の中で定期的な学習会や研修を位置付けるなど、職員一人一人が不適切支援と認識したり、職員が指摘できる環境を構築すること。
- ・ 日常生活自立支援事業と成年後見制度について、制度内容を正しく理解すること。
- ・ 地域連携推進会議の開催・運用について、制度ができたから地域とつながりを持つようにするというものでなく、グループホームが地域の一員として、普段から地域とつながりを持つよう、より実効性の高い、実りのある会議にしてほしい。